

# 厚生労働省における 医療の国際展開に向けた取組等

厚生労働省医政局総務課医療国際展開戦略室

## 安倍総理「成長戦略スピーチ」 (平成25年4月19日)

### (海外展開：オープン)

私たちは、国際的な大競争から逃れることはできません。であれば、むしろ打って出るしかない。それが、成長戦略の二つ目のキーワードである「海外展開：オープン」です。

(中略)

いよいよ、経済外交をスタートします。

近く、ロシアと中東を訪問し、食文化、エネルギー、医療システムなど幅広い分野で、トップセールスで、海外展開の動きを本格化させます。

特に、医療の分野では、日本は、年間2兆円の貿易赤字となっています。それも、この5年間で8000億円増えています。国内の医療ニーズはどんどん高まることが予想されており、逆に、打って出なければ赤字はさらに拡大していくこととなりかねません。

日本にも、強い分野はあります。例えば、CT・MRIを使った画像診断においては、日本は世界最先端を走っています。ガン治療に用いられる粒子線でも、世界トップレベルの技術を持っています。

新興諸国では、生活水準が上がるにつれて、感染症から、ガンや脳卒中などの生活習慣病へと、疾病傾向が変化しています。日本の高い技術の出番です。

ロシアでは、5月からウラジオストクに、「日本式画像診断センター」が開所します。さらに、今回のロシア訪問を機に、粒子線治療施設を建設するため、日露で協力する動きも進んでいます。

中東でも、アラブ首長国連邦のアブダビに、世界最先端の粒子線治療を行うことができる「日本UAE先端医療センター」構想を推進することについて、次の中東訪問の際に、合意したいと思います。

そのためには、日本の高度な医療技術を、世界に展開する母体が必要です。来週、政府が音頭をとって、20を超える医療機器メーカーと50を超える医療機関が連携して、新たな体制を創ります。この「メディカル・エクセレンス・ジャパン」のもと、国際医療協力を新たな成長の種としていきます。

# 日本再興戦略 -JAPAN is BACK- (平成25年6月14日閣議決定)

## 3つの政策

【第一の矢】  
デフレマインドを一掃  
**大胆な金融政策**

【第三の矢】  
企業や国民の自信を回復し、  
「期待」を「行動」へ変える  
**新たな成長戦略**

【第二の矢】  
湿った経済を発火  
**機動的な財政出動**

成長への道筋

**民間の力を引き出す**  
(新陳代謝、規制・制度改革、官業開放)

**全員参加による総力戦**  
(女性・若者・高齢者を最大限活かす、  
世界で活躍する人材の育成)

**新たなフロンティアを創る**  
(技術立国日本の再興、  
「メイド・バイ・ジャパン」で復活)

## 3つのプラン

**日本産業再興プラン**  
-産業基盤を強化-

- 産業の新陳代謝
- 雇用制度改革・人材力強化
- 科学技術イノベーション強化
- ITの利活用促進
- 立地競争力強化  
(エネルギー制約、特区等)
- 中小企業の革新

**戦略市場創造プラン**  
-課題をバネに新たな市場を創造-

- 「健康寿命」の延伸
- クリーンなエネルギー需給
- 次世代インフラの構築
- 地域資源で稼ぐ社会 (農業等)

**国際展開戦略**  
-拡大する国際市場を獲得-

- 戦略的通商関係構築  
(TPPやRCEP等)
- 海外市場の獲得  
(インフラ輸出、クールジャパン等)
- 内なるグローバル化の促進  
(対内直投、グローバル人材)

活力・人材 / 新製品・新サービス

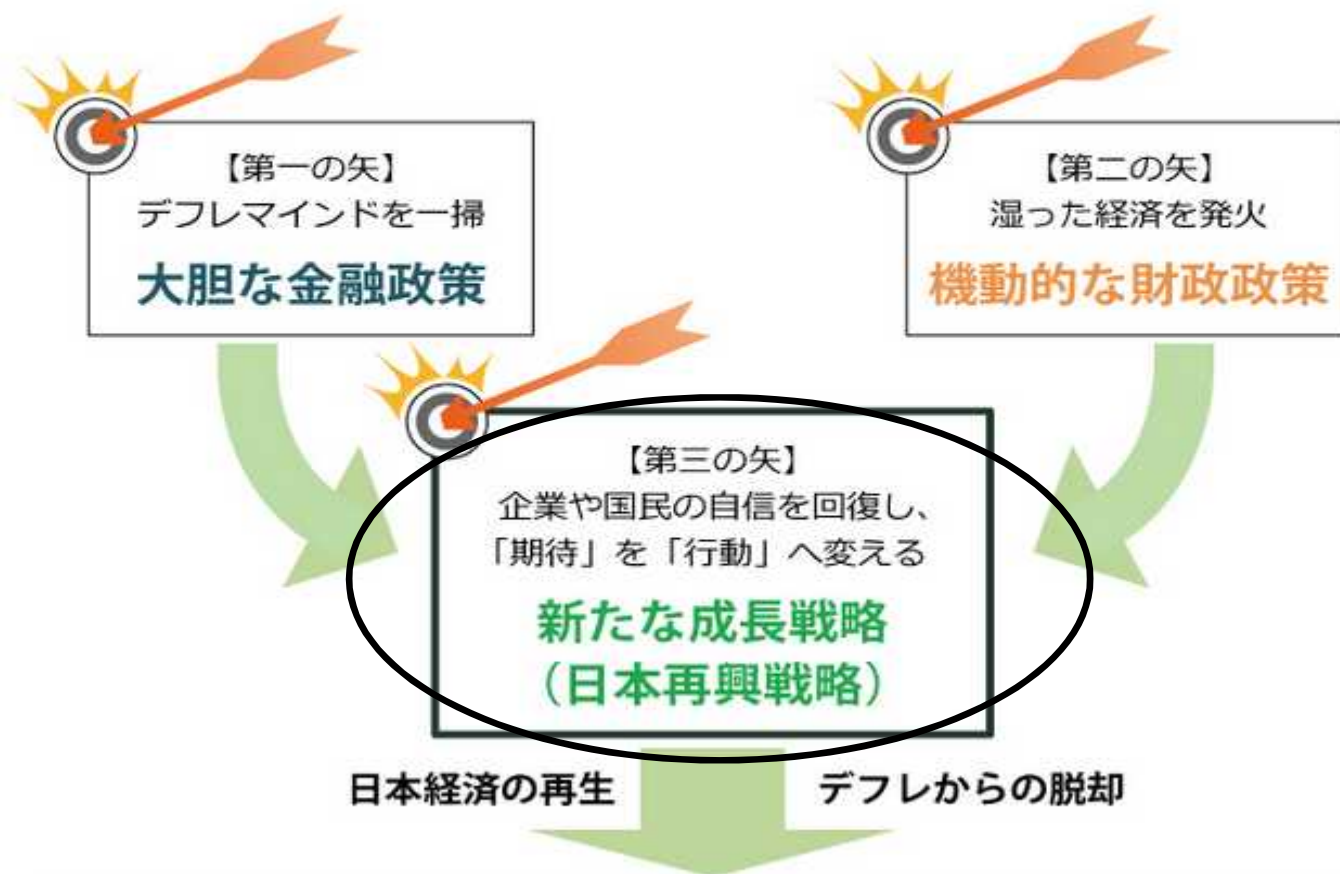
異次元のスピードによる政策実行/国家戦略特区を突破口とする改革加速/進化する成長戦略  
 <<政策群毎にKPI(達成目標)を設定して進捗管理。成果が出ない場合は、政策を見直し・追加>>

激んでいたヒト、モノ、カネを一気に動かし、10年間の平均で名目成長率3%程度、実質成長率2%程度を実現。  
 その下で、10年後には1人当たり名目国民総所得が150万円以上拡大。

## 「日本再興戦略」の概要

### <三本の矢>

安倍政権は、日本経済の再生に向け、①大胆な金融政策、②機動的な財政政策、③民間投資を喚起する成長戦略という3つの政策を、「3本の矢」として同時展開していくこととしています。



10年間の平均で名目GDP成長率3%程度、実質GDP成長率2%程度の実現を目指します。  
これにより、10年後に1人当たり名目国民総所得の150万円以上の拡大が期待されます。

## <「日本再興戦略」の3つのアクションプラン>

このような考えのもと、「日本再興戦略」においては、成長実現に向けた具体的な取組みとして、「日本産業再興プラン」、「戦略市場創造プラン」、「国際展開戦略」の3つのアクションプランを掲げています。



「日本産業再興プラン」の実行により産業基盤を強化します。その力を基に、「戦略市場創造プラン」の実行により、課題をバネに新たな市場を創造するとともに、「国際展開戦略」の実行により、拡大する国際市場を獲得します。

## 戦略市場創造プラン

- ◆ 戦略市場創造プランでは、以下の4つのテーマについて、その実現に向けての具体的取組とともに、各テーマについて、2030年時点の達成すべき社会像、成果指標、ライフスタイルを設定し、戦略分野毎の施策展開を示した行程表（ロードマップ）を作成しています。

### テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸

#### <目指す社会像>

予防から治療、早期在宅復帰に至る適正なケアサイクルを確立。

#### <具体策>

- 効果的な予防サービスや健康管理の充実により、健やかに生活し、老いることができる社会に向け、健康寿命伸長産業の育成、予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり、医療・介護情報の電子化の推進、一般用医薬品のインターネット販売などを実施します。
- 医療関連産業の活性化により、必要な世界最先端の医療等が受けられる社会に向け、医療分野の研究開発の司令塔機能（「日本版NIH」）の創設、医薬品・医療機器開発・再生医療研究を加速させる規制・制度改革、医療の国際展開などを実施します。
- 病气やけがをしても、良質な医療・介護へのアクセスにより、早く社会に復帰できる社会に向け、医療・介護サービスの高度化、生活支援サービス・住まいの提供体制の強化、ロボット介護機器開発5ヶ年計画の推進などを実施します。

## ◎ 日本再興戦略（平成25年6月14日閣議決定）

### 二. 戦略市場創造プラン

#### テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸

##### (2) 個別の社会像と実現に向けた取組

#### ② 医療関連産業の活性化により、必要な世界最先端の医療等が受けられる社会

##### ○ 医療の国際展開

- ・ 一般社団法人メディカル・エクセレンス・ジャパン（MEJ）を活用し、官民一体となって、日本の医療技術・サービスの国際展開を推進する。新興国を中心に日本の医療拠点について 2020年までに10 か所程度創設し、2030年までに5兆円の市場獲得を目指す。その際、国際保健外交戦略との連携、ODA、政策金融等の活用も図り、真に相手国の医療の発展に寄与する持続的な事業展開を産業界とともに実現する。
- ・ その実現に向け、上記の取組とともに、日本の良質な医療を普及する観点から、①相手国の実情に適した医療機器・医薬品、インフラ等の輸出等の促進、②外国人が安心して医療サービスを受けられる環境整備等に係る諸施策も着実に推進する。
- ・ 財務状況の健全性など一定の要件を満たす医療法人が、現地法人に出資可能であることを明確化する。
- ・ 日本の製薬産業の優れた研究開発力を活かして、開発途上国向けの医薬品研究開発と供給支援を官民連携で促進する。

# 医療の国際展開に関する総理の発言

## 第5回産業競争力会議（平成25年3月29日）

（安倍内閣総理大臣）

新興国等の医療、介護に貢献しつつ、日本が育んだ医療技術・サービス等を事業として国際展開することは、この分野が成長産業となるための鍵。医療機関、関連企業等による具体的な国際事業を支援する組織母体を創設する。経済協力を始め、あらゆる手段を動員して、日本の医療の国際展開をする。

## 第7回産業競争力会議（平成25年4月23日）

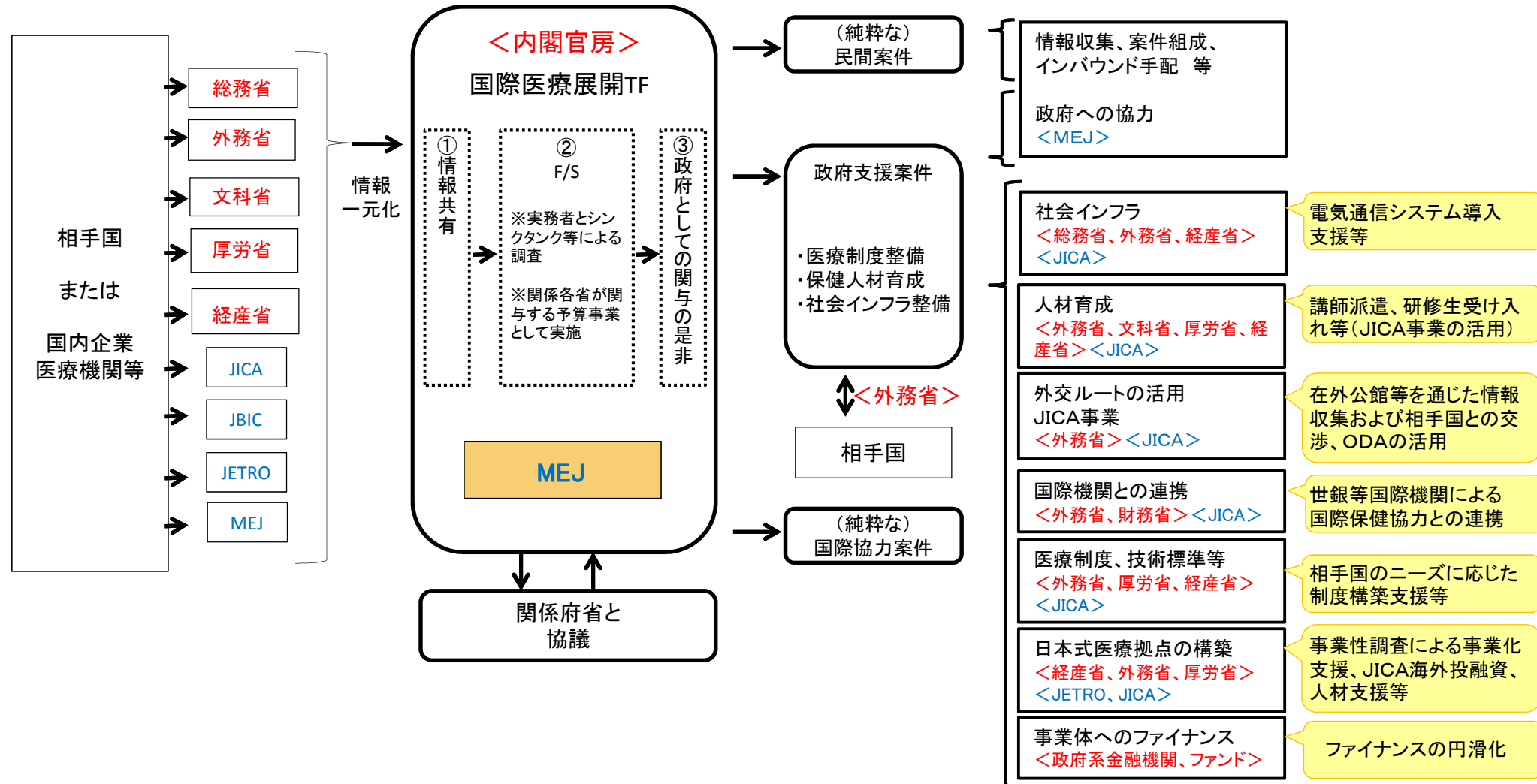
（安倍内閣総理大臣）

そして、健康長寿社会についてだが、医療産業のイノベーション強化や国際展開については、日本版 NIH 創設の具体化、本日設立された国際医療協力の中核機関の活用により、民間の具体的な活動を活性化していきたいと思う。私も自らトップセールスに努めていきたいと考えている。

（中略）

また今週末から本格的な経済外交をスタートすることになる。ロシア、中東とトルコを訪問する予定だが、その際、今日も農業の輸出戦略についての話があったが、日本の農産品を持って行って積極的な売り込みを図っていきたい。医療産業の輸出についても、まさにトップセールスで努力していきたいと思う。





# 医療国際展開の厚生労働省の取り組み

- 現在、医療の国際展開のため、これまで弱かった我が国厚生労働省と新興市場等各国の保健省との協力関係を新たに樹立すべく努力。
- 協力テーマには、
  - ① 我が国の先端医療についての技術移転、優秀な医療機器や医薬品についての紹介・相手国政府調達における官民一体の我が国製品のトップセールス
  - ② 国民皆保険を実現した我が国の公的医療保険制度についての経験の移転（相手国に於ける導入促進）
  - ③ 医薬品や医療機器の開発から承認に至るプロセスについての相互理解の促進（日本の厚生労働省/PMDAと相手国とのFDA等の規制当局との意見交換※）を通じた、日本で承認を受けた製品の相手国政府での審査早期化（※例：10月24日から25日にかけて、タイFDAとPMDAでシンポジウムを開催。日本からは、理事長以下が出席。）といったテーマが含まれる。

# 医療国際展開の厚生労働省の取り組み

## (1)マレーシア: 医療分野協力の覚書(メモランダム)締結合意

- スブラマニウム保健大臣との会談の結果、マレーシア保健省と日本の厚生労働省の間の医療分野についての協力関係樹立に合意。協力テーマとしては、
  - ① 国民皆保険を実現した我が国の公的医療保険制度についての経験の移転
  - ② 我が国の先端医療の紹介、優秀な医療機器・医薬品の紹介、といったテーマがあがった。詳細は、両大臣間の覚書(メモランダム)を締結することで合意。

## (2)タイ: 医療分野協力での協力強化のレコードを取り交わす方向で合意

- プラディット保健大臣との会談の結果、タイ保健省と日本の厚生労働省の間の医療分野についての協力関係強化について合意。具体的なテーマについて、事務当局間で議論を行った上で、レコードを作成し、取り交わすことで合意。

## (3)バーレーン: 医療分野の協力に関する覚書に署名

- ・ 8月、安倍総理とバーレーン首相の立ち会いのもと、覚書に署名。
- ・ 具体的には、保健、臨床研究、社会健康保険、医薬品・医療機器などの分野において、人材交流等の協力を合意。
- ・ これが医療分野の協力において、初めて厚生労働省が締結した合意。

## (4)カタール: 8月の総理の中東訪問においては、カタールにおいて、総理訪問に引き続き、保健省等との協議を実施。協議の結果、カタール政府の大規模政府調達において、我が国企業が初めて、入札に参加することが決定。

- ・ また、保健省と厚生労働省の間で、医療分野についての包括的協力をむけて、内容を議論していくことで合意。

# 医療国際展開の厚生労働省の取り組み

## (5)トルクメニスタン: 医療分野の協力に関する覚書に署名

- ・ 内容的には、内視鏡や放射線治療の分野における協力を合意。
- ・ 9月、安倍総理とトルクメニスタン大統領の立ち会いのもと、秋葉副大臣(当時)と保健大臣によって、覚書に署名。

## (6)カンボジア:

- ・ 9月、医療分野における協力覚書の交渉開始に合意。

## (7)ロシア:

ウラジオストク市において画像診断センターを5月に開設、将来的に治療の可能性も検討。  
日立のプロジェクトを始め、ロシア関係機関から我が国の優れた技術の導入について要請あり。

## (8)ミャンマー:

- ・ 10月、ペー・テッ・キン保健大臣が田村厚生労働大臣と会談。席上、我が国の公的医療保険制度について経験を学ぶため、ミャンマー保健省のスタッフを日本側に送りたい旨、先方から要請。田村大臣から、前向きに対応する旨、返答。

# 独立行政法人国立国際医療研究センターによる国際医療協力

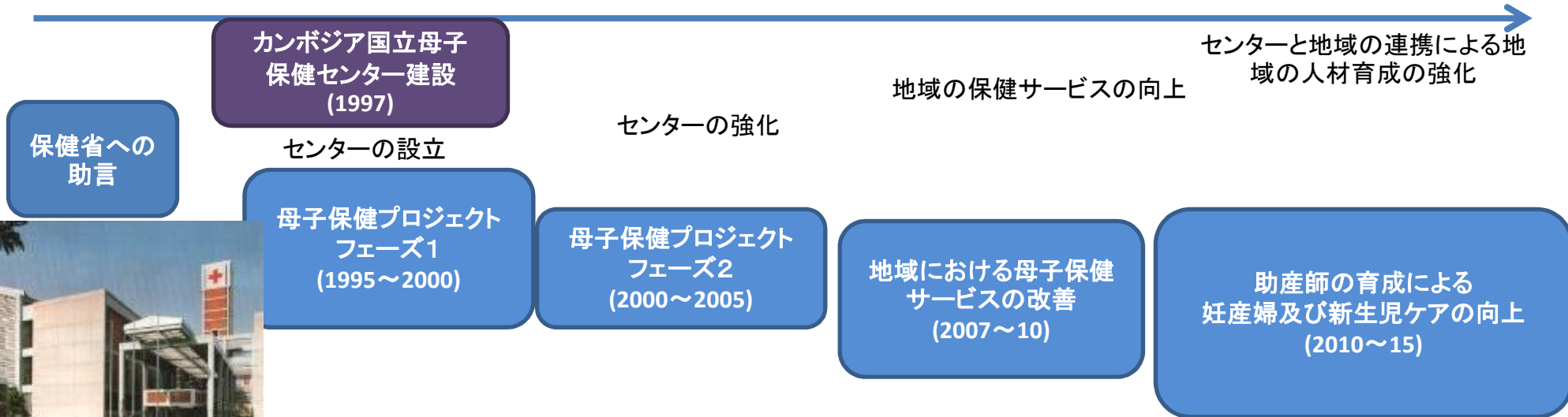
独立行政法人国立国際医療研究センターは、1986年の創立以来、保健医療分野における日本を代表する国際協力機関として、厚生労働省や外務省、独立行政法人国際協力機構(JICA)などと連携しながら、専門家派遣、国内外の保健医療人材の育成、研究を通じて国際協力を行っている。主に母子保健、感染症対策、保健システムの分野で、支援を実施。

## <実例:カンボジア国立母子保健センターへの支援プロジェクト>

### 日本による協力の成果

	2000	2005	2010	国連目標 (2015)
乳幼児死亡率 (人/出生千人)	95	66	45	50
5歳未満児死亡率 (人/出生千人)	124	83	54	65
妊産婦死亡率 (人/出生十万人)	437	472	206	250

1992      1995                      2000                      2005                      2010                      2015



# ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ

地球上の全ての人々が基礎的保健医療サービスを受けられるよう、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の普及を働きかけている。(注: WHOの定義では、UHCとは、全ての人々が基礎的な保健医療サービスを、必要な時に、負担可能な費用で享受できる状態。)



2013年9月17日 於: マレーシア・クアラルンプール  
秋葉厚生労働副大臣(当時)とマレーシアのスブラマニ  
アム保健大臣が医療分野についての協力関係樹立に  
向けた会談を実施

2013年9月25日

第68回国連総会の特別イベントにおいて、安倍総理大臣が出席し、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を特に重視する旨述べた

